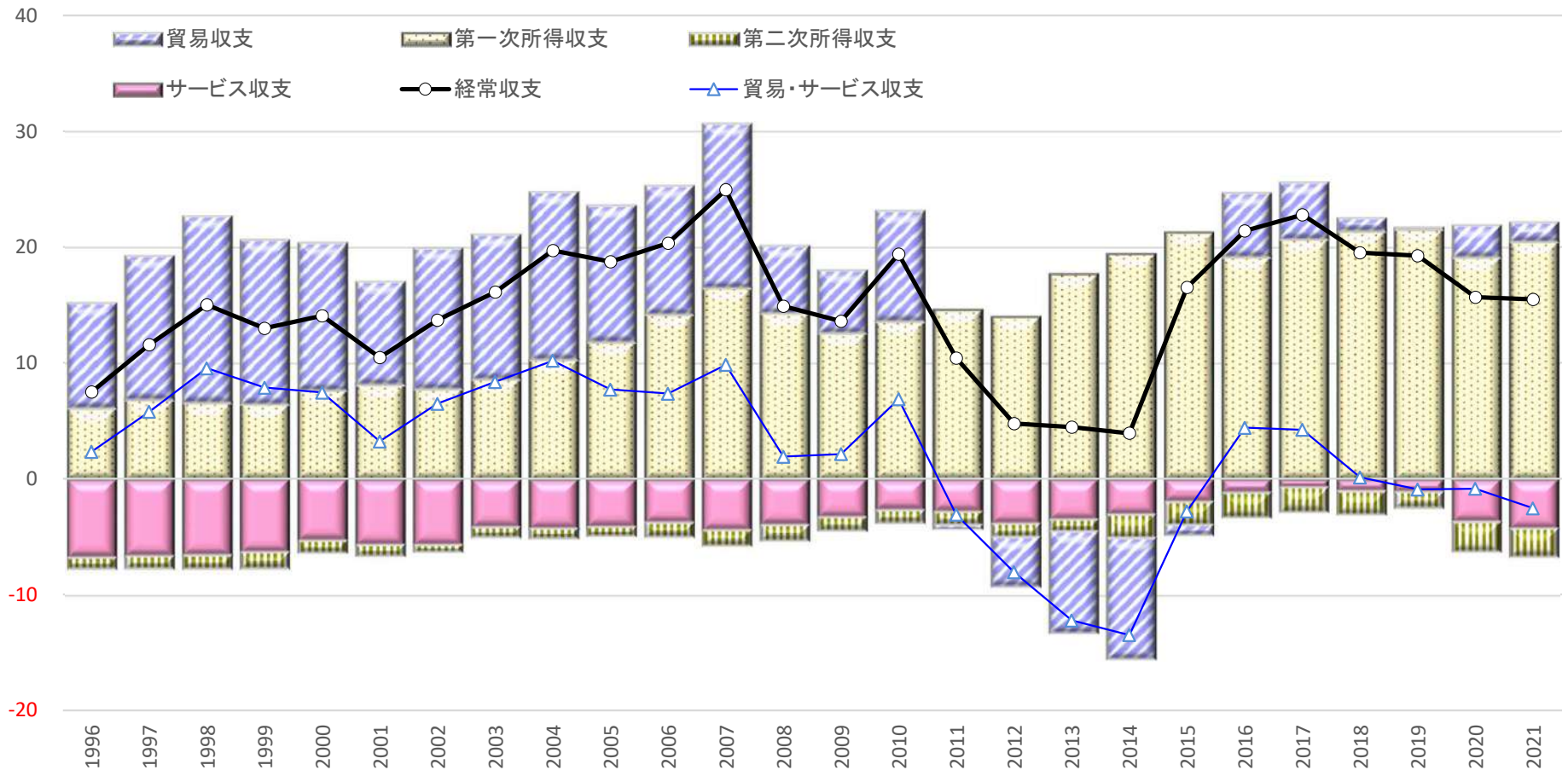


## 2. 国際課税を取り巻く経済環境の変化

# 日本の経常収支の推移と内訳の変化

- ・日本は過去25年一貫して経常黒字だが、ここ10年は第一次所得収支がその大半を占める。
- ・東日本大震災後一時的に貿易収支は赤字化した一方、サービス収支はコロナ禍前まで赤字幅を縮減。

(兆円)



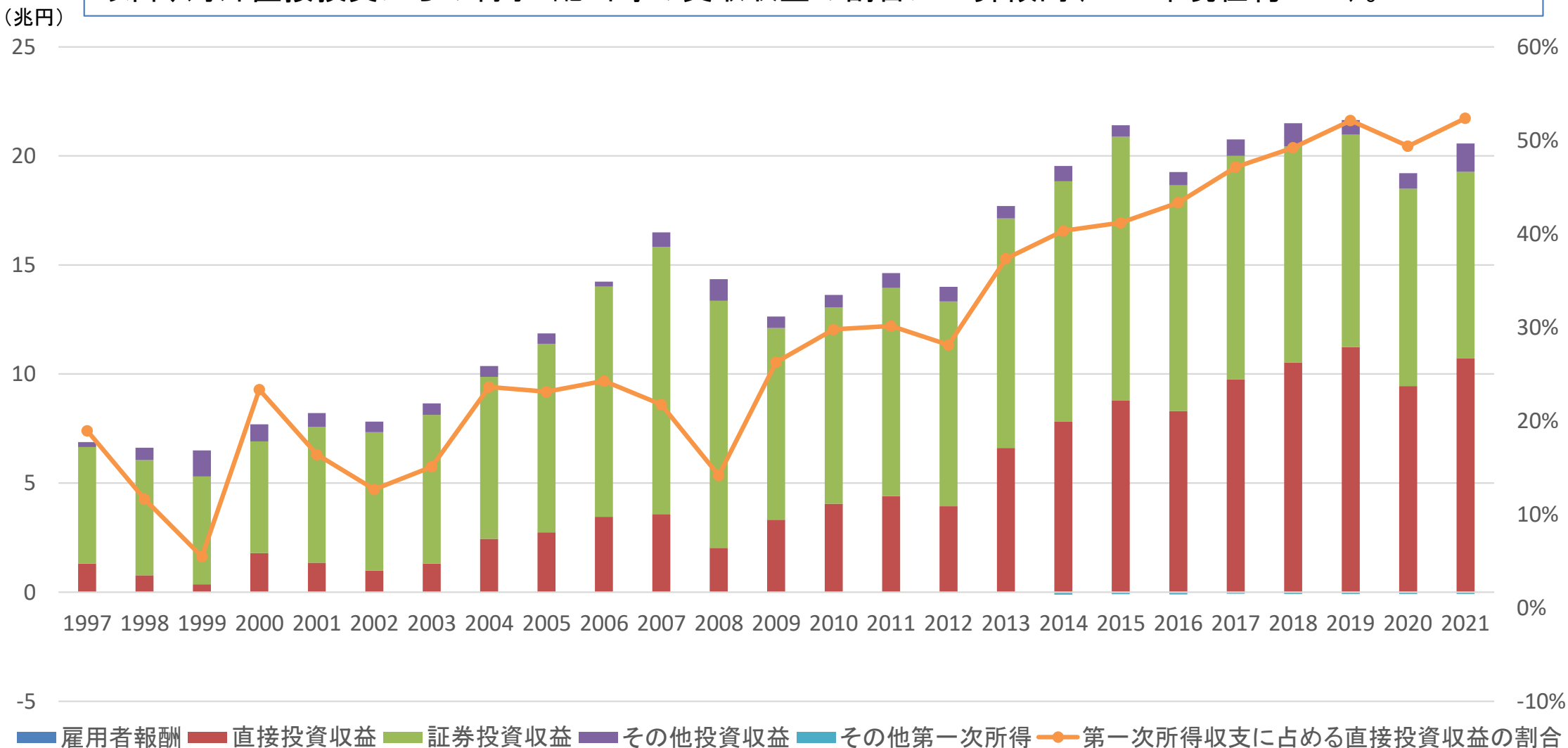
(注) 第一次所得収支: 投資収益(直接投資収益、証券投資収益(配当金、債券利子等))等  
 第二次所得収支: 官民の無償資金協力、寄付、贈与の受払等

(データ出典: 財務省 国際収支統計)

(暦年)

# 日本の第一次所得収支(ネット)の推移

- ・過去25年間、日本が海外から受け取る配当・利子等が、日本が海外へ支払う配当・利子等を上回る状況が継続。ネットの一次所得収益黒字は、過去25年で約3倍(約6.9兆円→約20.5兆円)に拡大。
- ・長らく対外証券投資に係る利子・配当等の受取収益が収益の大部分を占めてきたが、2010年代に入って以降、対外直接投資からの利子・配当等の受取収益の割合が上昇傾向(2021年現在約50%)。



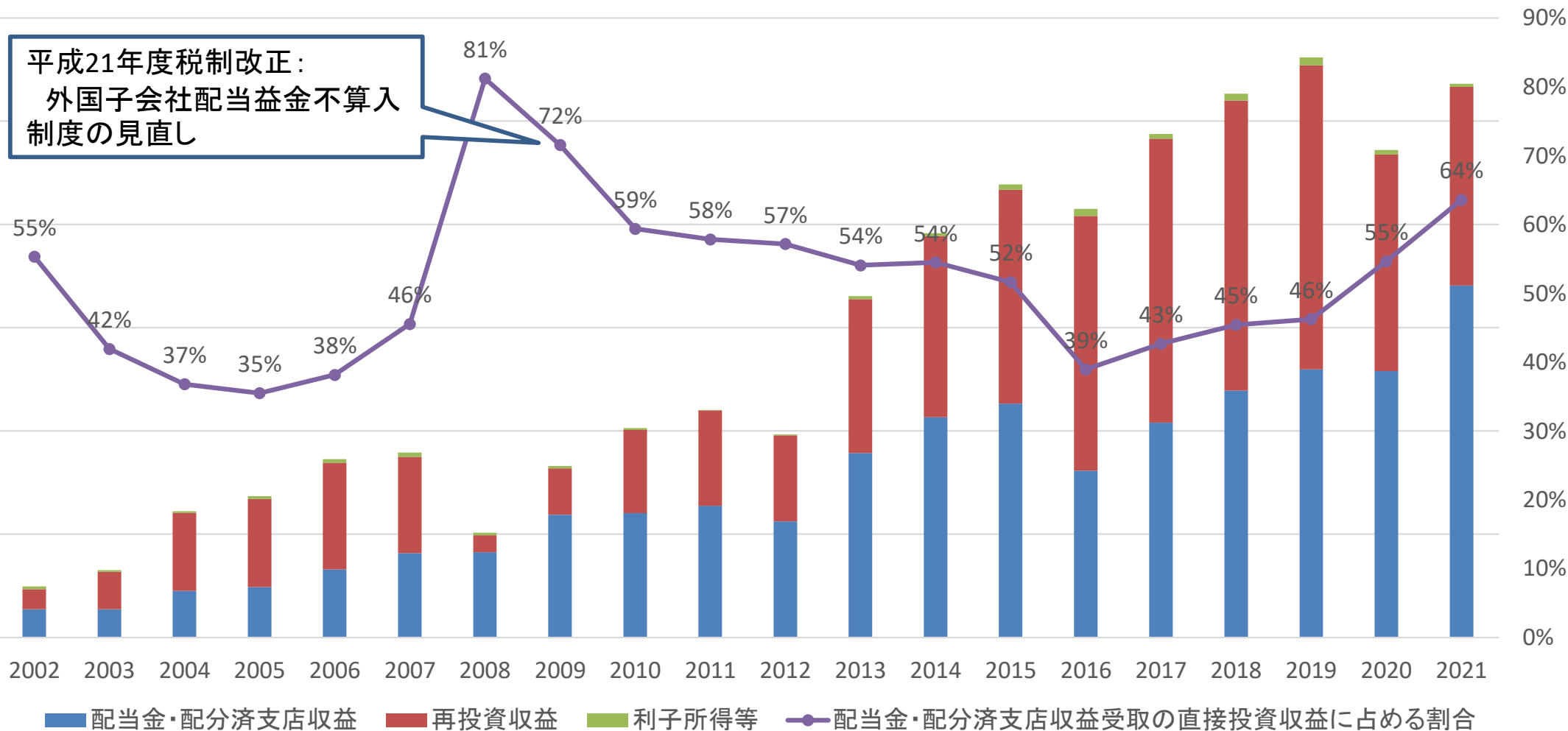
(注) 第一次所得収支に占める直接投資収益の割合(折れ線)は右軸、その他の指標は左軸を参照のこと。

(データ出典: 財務省 国際収支統計)

# 日本の直接投資収益のうち、配当収益と再投資収益の比

- ・直投収益には、海外子会社等への出資及び貸付から得られる配当・利子の受取りに加え、海外子会社の内部留保が含まれる。
- ・平成21年度税制改正において、企業の配当政策の決定に対する税制の中立性の観点等を踏まえ、外国子会社配当益金不算入制度を導入。

(兆円)



(データ出典：財務省 国際収支統計)